

令和6年6月20日
大阪府職業能力開発協会

実技試験採点基準紛失と今後の防止策について

大阪府職業能力開発協会（以下「当協会」という。）が実施した令和5年度後期技能検定の実技試験において、令和5年度後期技能検定実技試験採点基準（以下「採点基準」という。）の紛失事案が発生いたしました。

秘密保持の徹底が不十分であったことを深くお詫び申し上げますとともに、今後、試験実施にあたって、再発防止に全力で努めてまいります。

なお、実技試験の合否には影響はありません。

1 実技試験実施職種

菓子製造（洋菓子製造作業）2級

2 事案の内容

- ・当協会が実施した令和5年度後期技能検定「2級洋菓子製造作業」の実技試験において、実技試験（令和6年1月24日）の翌日、同月25日に実施協力団体で当該実技試験の採点基準1部が見当たらないことが判明した。
- ・それ以降、同団体が事務所内並びに首席検定委員、検定委員、補佐員、事務員等試験関係者及び同団体職員全員の自宅の搜索を徹底的に行うが見当たらず、事務所内で当該採点基準1部を誤って廃棄した可能性が高いものと考えられる。
- ・各検定委員は、試験当日の技能検定委員同士の事前打ち合わせにおいて、各々の役割や採点基準等の確認を行った上、採点を行っており、実技試験の合否には影響はなかった。

3 再発防止対策

首席検定委員、検定委員、補佐員、事務員等技能検定試験の実施に携わるすべての者に対して、説明会等の機会を通じて「技能検定実施試験運営要領」に基づく秘密保持義務について、技能検定試験に携わる者として重大な責務を有していることの自覚を促すとともに、遵守を一層徹底させる。